

キョウドウシンケン  
共同親権の家



○ 父母が出会わない動線計画  
○ 更新されていくインフィニティ

この集合住宅は父母が出会わないように二重の螺旋をもとに構成されている。その螺旋がNEXT21の様々な要素を巻き込んでいくことで立体的回遊性をまわ動線が生まれ、子どもや住人は集合住宅内で偶然的な出会いをする。また家族構成や各住戸の住まい方の変化に応じて建築のインフィニティ部分、外野空間を更新がまた新たな出会いをまわ。



**O. Inspiration**  
NEXT21キカラー・ジュアード

居住環境の場として多様な住人、自然、エネルギーシステム、そして住まい方を一つの集合住宅としてつなごうとする。NEXT21は、多様な要素や素材から建築外の環境を生かすカラー・ジュアードを巻き込めた。これをNEXT21として、多様な住人が、カラー・ジュアードを利用して多様性を更新しつづけるカラー・ジュアードの建築を構築する。

- 住まい方
- エネルギー
- 自然

**News**  
共同親権可決

2024年5月17日の参院本会議にて「共同親権」が可決された。すでに既にあるように、家族の在り方や住まい方が急変してしまふことを予感し、今回の主人公に決定させて頂いた。



**2. Diagram**  
二重螺旋区カラー・ジュ

両親が離婚した子どもは親の都合で二人の間を往々する。共同親権の子が最も安心を感じるはこの異なる直線的な移動の時ではないか。今回の集合住宅でも父と母は出会うことのない二重の螺旋である。しかしこの螺旋にカラー・ジュアードを巻きつけると、多様な人々や自然、共用部へ入り、そして建築のインフィニティは住まい方によって更新しつづける。父と母の間をたどる直線的な移動を、能動的で選択的な移動へと変える。母と父の間をたどる直線的な移動を、能動的で選択的な移動へと変える。母と父の間をたどる直線的な移動を、能動的で選択的な移動へと変える。



直線的で退屈な移動  
螺旋した両親。交わらない二重の螺旋。



選択的で豊かな冒険  
二重螺旋にカラー・ジュアードを巻きつけ、配列を変える。

門脇賞

N00133

共同親権の家

有田 俊介(芝浦工業大学大学院)

井上 啓夢(芝浦工業大学大学院)